

町でうわさの若者を紹介。

夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

車椅子バスケットボール

名前 やす お えみ
安尾 笑 さん(22)

行政区 田 中

熊本県庁職員

2015 U25(25 歳未満) 女子世界選手権(中国北京)

日本代表

所属:九州ドルフィン



「まさに格闘技ですね」と話すのは安尾笑さん。九州唯一の女子車椅子バスケットボールチーム「九州ドルフィン」に所属し、週2回男子チームと一緒に練習に汗を流している。

車椅子バスケットは、ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じだが、車椅子のスピード感やぶつかり合いの激しさが特徴。

きっかけは高校1年生の時。今では同チームの先輩で「尊敬する存在」の平井美喜選手だった。買い物中にたまたま出会い、誘われたという。その時は興味もなく断ったが、後に、笑さんは車椅子バスケットを始めることに。

就職を機に「何か新しい環境に身を置きたい」と思ったある時、ふと忘れていた美喜さんの顔が浮かんだという。約2年ぶりに連絡を取り練習会場へ足を運ぶと、そこは笑さんにとって「居心地のいい」所だった。

みんなに会いたい気持ちで参加していたが、初めて女子の試合を見た時、笑さんの闘争心が燃えた。「自分もこの中でやりたい」。本格的にやろうと決めた瞬間だった。

負けず嫌いだという笑さんは、その後努力を重ね、U25女子世界選手権の日本代表に選ばれるまでになった。「周りの理解と温かいサポートのおかげで出場できました」と感謝を忘れない。

「普段の練習では、健常者の方も一緒に練習しています。車椅子バスケットの魅力は、健常者、障がい者の区別なく同じ舞台で楽しめる」と笑さん。「もっと多くの人に知ってもらい、障がい者スポーツではなく、一つのスポーツとして楽しめる環境になってほしい」と願っている。

東京パラリンピックまで5年。周囲の期待は膨らむが、「それにとらわれず、今自分がやらなければならぬことを見失わず頑張りたい」と笑さんは「今」を見つめる。